

福島第一原子力発電所の状況

2015年11月25日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/25 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.4 m ³ /h	22.1	0.5 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.03 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	27.6	3.45 kPa g	A系： 0.04 vol %
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.04 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	25.9	0.27 kPa g	A系： 0.06 vol %
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.06 vol %

*2号機および3号機原子炉格納容器ガス管理設備については、信頼性向上を目的に、配管の一部に使用しているフレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業を行う。当該作業では、必要に応じて設備の停止となるので、設備停止中は特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という)第1編第24条の表24-1に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器が1チャンネル動作可能であることを満足しない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行して作業を実施する。2号機原子炉格納容器ガス管理設備について11/24 10:04から作業を開始。これに伴いデータ欠測。作業が終了したことから、同日14:50に当該設備を起動。17:55に実施計画第1編第32条第1項の適用を解除。なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常無いことを確認。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/25 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	18.0
2号機	循環冷却システム	運転中	21.2
3号機	循環冷却システム	運転中	14.7
4号機	循環冷却システム	運転中	14.3

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/25 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・2015/11/25 11:38 頃 高性能多核種除去設備において、ろ過水による当該設備の洗浄を実施していたところ、高所にあるベント配管(空気抜き配管)より洗浄水が滴下していることを、協力企業作業員が発見。また、現在漏えいは停止している。滴下した水は床面約1m×1mの範囲に飛散したもの。漏えいは、高性能多核種除去設備建屋の堰内に収まっており、外部への流出はない。滴下した水については、同日12:10頃に拭き取りを完了。

< 4. その他 >

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号

機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/11/24～12/21 原子炉格納容器内窒素封入設備である非常用窒素ガス分離装置(通常は待機状態)の本格点検(年次点検)を実施する。非常用窒素ガス分離装置の点検中は待機除外。非常用窒素ガス分離装置は、特定原子力施設に係る実施計画「特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」という。)第1編第25条において、運転上の制限「非常用窒素ガス分離装置(非常用窒素ガス分離装置用ディーゼル発電機を含む)が動作可能であること」が求められており、点検中はその運転上の制限を満足出来ない状態となることから、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し、点検を実施こととする。なお、点検期間中非常用窒素ガス分離装置の起動が必要となった場合には、速やかに起動可能な状態に復帰する等の安全措置を定めたいうえで点検を実施する。11/24 10:32 点検作業を開始。
- ・2015/11/26～ 新設されたタンクエリアに移送を行うためのプログラム変更を実施するため、以下の水処理設備の計画的な停止を実施予定。
 - SARRY:停止 11/26 9:00～13:00(作業終了次第起動予定)
 - KURION:停止中
 - 淡水化装置:停止 11/26 9:00～16:00、11/27 9:00～16:00
 - 多核種除去設備(既設):停止中(使用前検査待ち)
 - 多核種除去設備(増設):循環待機 11/26 9:00～16:00、11/27 9:00～16:00
 - 多核種除去設備(高性能):停止中なお、上記設備の停止による炉注水や建屋内水位等に影響はない。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
 - 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。
 - 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
 - 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
 - 9/17～ 地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- ・一時貯水タンクBの当社および第三者機関による分析結果[採取日11/16]は同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、11/26 海洋への排水を行う予定。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日11/12]は同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることから、11/25 10:07～16:16 海洋への排水を実施。排水量は1,523m³。なお、排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認。

[1～3号機放水路の状況]

- 1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- <H4エリア周辺、H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

<地下貯水槽サンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上